

ふじみ野

No.50

H30.8.1 発行

埼玉県ふじみ野市議会

市議会だより

CONTENTS

- あらゆる世代が元気健康に暮らせるまちへ 2p
- 議会基本条例・議員政治倫理条例を制定 5p
- 50号記念特集 市議会だより読んでいますか? 6p
- 市政を問う! 一般質問 15人が政策論議 8p



働く人シリーズ ②9 金属加工業

管楽器メーカーの下請けとして、主にフルートやサクソスなどの細かい部品を溶接で取りつけたり磨いたりする仕事をしています。繊細さが求められる作業ですが、仕様に忠実に製品にばらつきがないよう心がけています。

関連記事: 14 ページ

第2回定例会は6月1日に開会され、15日間の日程で一般会計補正予算、市立介護予防センター条例など市長提出議案24件を審議し、全てを可決しました。

なお本会議において新たに副議長を選出するとともに、議会に関する条例の制定に向けた特別委員会から議会基本条例、議員政治倫理条例が提案され、全員賛成で可決しました。



あらゆる世代が 元気健康に暮らせるまちへ

台風被害に共済 金からの支出は

【問】建物総合損害共済共済金から昨年の台風第21号による被害に共済金が支払われるが、被害を受けた物件及び金額の算定方法は。

【答】建物総合損害共済共済金約280万7000円については、葦原中学校の被害に対するもので、エアコン室外機修繕、教室の床修繕、プールろ過装置修繕が対象となった。

情報セキュリティ の強化

【問】内部情報システムが更新されるというが、その内容と効果は。

児童発育・発達 支援事業

【問】フクトピア2階にある児童発育・発達支援センターの相談室の増室による効果及び今後の事業拡大への考え方は。

【答】増室により400件ほどの新たな相談に対応できる。あわせて相談員の増員を検討している。

全ての世代を対 象に介護予防

【問】旧かみふくおか西デイスアイビスセンターの施設が介護予防センターとして整備されるが、計画されている事業内容、効果及び将来展望は。

【答】一般介護予防事業として情報提供、普及啓発、市民向け講座、管理栄養士などによる各種教室、腰や膝の痛み予防に有効なトレーニング、リハビリ相談、機能訓練室を利用した自主トレーニング等を実施していく。

提出議案と審議結果

○全員賛成 ○賛成多数 ○否決

……専決処分の承認……

○市税条例の一部改正
○都市計画税条例の一部改正
○国民健康保険条例の一部改正
○固定資産評価条例の一部改正

……平成30年度補正予算……
○一般会計（第1号）

……条例の制定……
○市立介護予防センター条例
○市議会基本条例

……条例の一部改正……
○市税条例等の一部改正
○都市計画税条例の一部改正
○災害派遣手当等の支給に関する条例の一部改正

……特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
○市立スポーツセンター条例の一部改正

……条例の廃止……
○弓道場条例及びテニスコート条例を廃止する条例
○市立大井デイスアイビスセンター条例を廃止する条例

……契約の締結……
○第2運動公園多目的球場等整備工事請負契約の締結
○運動公園園地整備工事請負契約の締結

……人事……
○人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

……その他……
○道路線の認定（4件）

……請願……
○市道の総点検をし、改修を求める請願

……意見書……
○旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書

……意見書……
○「原発廃止・エネルギー転換を実現するための改革基本法」の制定を求める意見書

……意見書……
○主要農作物種子法の復活をはかることを求める意見書

……意見書……
○「原発廃止・エネルギー転換を実現するための改革基本法」の制定を求める意見書

……意見書……
○主要農作物種子法の復活をはかることを求める意見書

……意見書……
○「原発廃止・エネルギー転換を実現するための改革基本法」の制定を求める意見書

……意見書……
○主要農作物種子法の復活をはかることを求める意見書

総括質疑

本会議での質疑をまとめています。

現在も子育て世代包括支援センター、民間運営の子育て支援センター、発達支援施設等と情報共有し支援を行っている。今後必要な事業展開が図れるよう研究する。

【問】相談件数の推移は。
【答】相談件数は、平成27年度781件、平成28年度1025件、平成29年度1150件と増加している。

【問】平成29年度の相談実績は。
【答】障がい児相談134件、発育・発達相談81件、

療育相談の言語相談443件、作業療法相談106件、生活技能訓練教室105件、基本相談が219件、発達検査が62件である。
今回設置する相談室は仕切り壁をつくりプライバシーに配慮し、相談内容により他機関連携による効果的な相談援助業務を実施できるようにする。

弓道場、テニスコート 整備状況

【問】市立スポーツセン

ター条例の改正で、弓道場とテニスコートが加わる。両施設の工事の進捗状況は。

【答】弓道場は、3月から着工し、5月末には基礎工事が完了した。今後は建屋や防矢ネットなどの整備に着手する。工期の遅れもなく、11月のオープンに向け順調に進んでいる。

テニスコートは、5月下旬に工事の落札業者が決定したので、契約締結後に順次クレーコートから砂入り人工芝コートへの改修を実施する。

また、全ての世代を対象に介護の担い手養成講座や多世代地域交流事業などを予定している。事業に参加し、定期的に効果測定を行うことで、進捗を抑えることに有効と考える。

【問】弓道場は、3月から着工し、5月末には基礎工事が完了した。今後は建屋や防矢ネットなどの整備に着手する。工期の遅れもなく、11月のオープンに向け順調に進んでいる。

【答】弓道場は、3月から着工し、5月末には基礎工事が完了した。今後は建屋や防矢ネットなどの整備に着手する。工期の遅れもなく、11月のオープンに向け順調に進んでいる。

……意見書……
○「原発廃止・エネルギー転換を実現するための改革基本法」の制定を求める意見書
……意見書……
○主要農作物種子法の復活をはかることを求める意見書

議会新人事



議長
堀口修一



副議長
渡辺 大

市民の皆様には、平素より市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

私たち市議会は、市民の皆様が安全・安心に暮らせるまちづくりを推進するため、議会がもつ機能を最大限に発揮し、議会運営に全力で邁進してまいります。

今後とも、市民の皆様の、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◎委員長 ○副委員長

総務常任委員会	
◎山田 敏夫	○島田 和泉
民部 佳代	有山 茂
小高 時男	足立志津子

市民・都市常任委員会	
◎西 和彦	○川畑 京子
谷 新一	小林 憲人
新井 光男	伊藤 初美
大築 守	

福祉・教育常任委員会	
◎伊藤美枝子	○鈴木啓太郎
堀口 修一	加藤 恵一
渡辺 大	床井 紀範
塚越 洋一	

議会運営委員会	
◎大築 守	○谷 新一
伊藤美枝子	小林 憲人
伊藤 初美	小高 時男
塚越 洋一	

※議会広報常任委員会は裏表紙をご覧ください。

ギカイの動き

議会基本条例・議員政治倫理条例を制定

議会基本条例と議員政治倫理条例を全員賛成で可決しました。
議会基本条例は、市議会として市民からの負託を受け、より開かれた議会を目指し、市の発展の

ために力を尽くすことを決意し制定しました。条文では、二元代表制の一翼を担う市議会の権能である政策立案や監視機能を発揮し、議員としてのあるべき姿を規定しています。

新たな議会報告会がスタート 平成 30 年 7 月 14 日(土) 参加者 73 名

第 2 回定例会で議決された議会基本条例第 18 条の規定に基づく議会報告会としては初の開催となりました。報告会の目的は議員と市民が市政全般について情報や意見交換を行うことです。報告者は参加議員が担当し、報告が終了後にご参加いただいた市民の皆様と活発な意見交換を行うことができました。



市民との意見交換



福岡駅碑



大正 5 年当時の上福岡駅
〈上福岡市教育委員会「市史調査報告書第 19 集」より〉

地域探訪

編集委員が訪ねました

大正 3 年 5 月（1914 年）に東上鉄道の池袋（たのもざわ）田面沢間（現在の川越市）の開業と同時に上福岡停車場（上福岡駅）が開設されました。当時の福岡村に停車場が置かれたのも、地域の発展を願って東上線の開通に当たり、個人としても多額の寄付をし尽力した星野仙蔵氏の功績によるものです。その時の功績をたたえる駅碑が上福岡駅の東口に設置されています。

地域発展の想いを
かたちにし
上福岡駅

問 センターで展開される業務の内容は。
答 医師、大学教授による市民講座や専門職による認知症予防講座、ふじみんぴんしゃん体操や栄養改善教室の開催、オレンジカフェや認知症サポーターの養成などを計画している。
また、多世代の交流促進としてシルバー食堂や子どもと一緒に活動できる食堂、保育園学校との交流事業などを考えている。



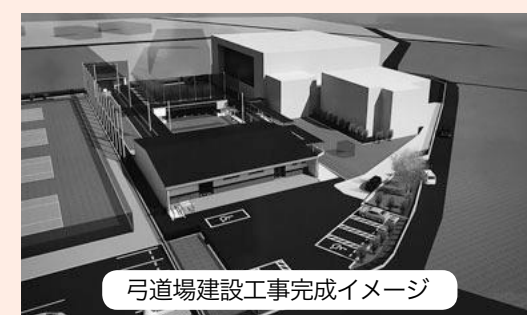
霞ヶ丘にオープンする市立介護予防センター

条例制定 全員賛成で可決

誰もが利用できる
介護予防の拠点へ
市立介護予防センター条例

全ての世代を対象とした地域包括支援体制を構築し、介護予防と福祉の増進が図られます。

問 市民サービスは、どのように向上するのか。
答 テニスコートは砂入り人工芝コートになり、雨の日の翌日も利用可能となったことから利便性や管理面も向上する。
また弓道場については、5 人立ちの近的から 1 人立ちの射場も増え、その他障がい者にも優しい施設となり、利便性の向上が図られると考えている。



弓道場建設工事完成イメージ

条例改正 賛成多数で可決

みんなにやさしい
スポーツ施設へ
市立スポーツセンター
条例の一部改正

総合体育館に隣接する弓道場及びテニスコートが新たに整備され、利用の拡大が図られます。

請 願 賛成少数で不採択

市道の総点検をし、改修工事を求める請願

請願は、市道の総点検・改修計画の策定・危険な箇所の速やかな修繕を求めたものです。

審議の結果、賛成少数で不採択となりました。賛成意見は、「市民の安全・安心を守るのは、行政の責務であり、議会でも後押しをすべきだ」というものでした。一方で反対意見は、「請願にある内容は、行政が既に実施していることであり、請願を採択する理由がない」というものでした。

50号

記念特集

市議会だより 読んでいますか？

開かれた議会として定例会でのやり取りや結果をお知らせする「市議会だより」。年4回の定例会後に発行、今回が記念すべき50号となりました。一人でも多くの方に読んでもらい議会を身近に感じてほしいと、市民生活に直接関係する議案を取り上げたり市民の方に紙面に登場いただいたりと、編集委員一同、試行錯誤しています。ところで市議会だより、読んでいますか。街に出て聞いてみました。



駅前花壇で作業中の竹内さん

一般質問などを読むと、「検討します」「研究します」といった答えが多く感じます。ふじみ野市こそが先進地であってほしいです。

チラッとしか見ていません。自分に直接関係することならもっと読む気になるかな。タイトルの内容や文字の大きさも大事ですね。



パグ好きの主婦さん



Hさん
(農業)

一般質問をした「その後の話」が気になります。地図や写真があると、記事に載っている場所がわかりやすくいいですね。



見守り活動中の村上さん

地域の見守り活動を行っています。地域でこの活動が広がっていくように発信してほしい。また、地域活動の声を聞くような場もつくってほしいと思います。

市民の目線で地域問題を取り扱ってほしいです。子どもから高齢者まで安心して住みやすくなるまちづくりをお願いしたいですね。



田中さん
(自営業)

保育や教育など、関心あるテーマはよく読みます。議員の仕事が見えないので、議会からの提案がどう実現したか取り上げてほしいです。



仕事帰りの戸田さん

事業を実施してその後の経過や効果検証などの記事、地域団体との意見交換の場づくりをしてほしいです。



自転車屋の大野さん



田んぼで作業中の小川さん

読んでますが、一般質問などは細切れの情報でわかりにくいですね。議案に対してどんな議論をしたか、詳しくわかるような記事もほしいと思います。



しょうくん
(亀久保)

ほとんど読んだことはありません。市や議員さんが何をしてくれているのかが、パッとわかるように掲載してほしいです。



主婦の新井さん

先日行われた議会基本条例の市民説明会に参加しました。議会だよりがカラーになるといいですね。



下田幸子さん
(西)

若い子も読みやすいような媒体にしてほしい。例えば、まんがにするとか。オールカラー化、デジタル化、生活に密着した記事掲載を。

毎号読んでます。上福岡駅前整備とか交差点の改良などに関心があります。駅の空いてる土地、何かできないのかな。



休日デート中の柳井さん

質問を読むと「こんなことがあったのか」と勉強になることが多いです。市内も外国人が増えています。質問などで取り上げていただけたらと思います。



石井さん
(国際交流センターにて)

小中学校の衛生や教育、安全に関する内容に興味があります。ページ数は内容を凝縮して、もうちょっと少ないほうがいいかな。



Y・Aさん
(鶴ヶ舞)



池田さん
(西鶴ヶ岡)

毎号の表紙の題字は楽しみです。気軽に読めるようにページ数はこのままか、少し少ないぐらいがよいかなと思います。



徹さん
(大井武蔵野)

ほぼ毎号読んでいます。子どもたちにもわかりやすい内容だいいですね。防災などの情報も知りたいです。



子育て中の宮本幸子さん

子育ての内容や写真がいいですね。50号の記念号に自分も掲載されるなんて、とてもうれしいです。



ゆかりさん
(団体職員)

市報のようにカラー印刷を希望します。若い人向けに、議会だよりはポップな感じに印刷してみてもいいと思います。

字が多いのであまり読みませんね。もっと写真が大きければいいかな。知っている場所や人が出ていれば読むかも。



お買い物中の直美さん

届いていたことは知っていますが、ページを開いたことはありませんでした。介護のことなどは身近なので、今後は読みたいと思います。

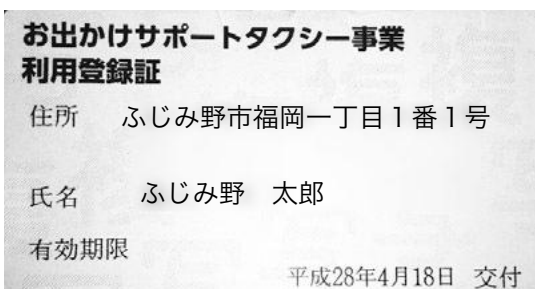


芳賀さん
(北野)



問 市のイベントにPRブースを設置しては。
答 産業まつりや環境フェアなどのイベントで情報ブースコーナーの設置を考えている。
オリジナルマンホールを活用したPR
問 オリジナルマンホールを活用し、企業広告を募集しては。
答 企業ニーズや宣伝効果のある場所などを調査しながら、事業効果について研究する。

階段を活用した健康づくり
問 公共施設の階段にカラー表示を設けては。
答 思わず階段を利用したくなるような動機づけとしてポスターやステッカーの掲示等、効果的な方法を安全・安心を最優先に検討する。
道路の維持管理に向けて
問 道路の維持管理にかかる特定財源の確保は。
答 道路法施行令の一部改正に伴い、区分の見直しが行われた。国の方針に基づき、道路占用料の改定を来年度実施できるように準備している。
問 維持管理費の状況は。
答 市で管理する道路は289.4km。道路延長は年々増えており、維持管理費も増えている。



問 自立に向けて段階的な支援の拡充を。
答 支援プログラムメニューの充実を図り、中間的就労の受け入れ先の確保に努めていく。
利用しやすいお出かけサポートタクシー
問 共通乗降場を近隣市の救急病院、産婦人科へ拡充し、交通弱者が利用しやすい制度にしては。
答 利用時間の延長、市外の医療機関への拡大は、今後アンケート調査を実施し検討する。

上野台体育館トレーニング室の今後
問 担当課が保健センターから文化・スポーツ振興課へ移管した。この目的と効果は。
答 健康運動指導士等を配置し、幅広い健康・体力の維持増進に取り組みたい。この効果を得るためにトレーニング手法に合ったマシンの導入が必要であり、安全面も考慮し順次更新していきたい。
問 利用時間帯の拡充やシャワー室の設置は。
答 利用時間は、利用者の要望を踏まえ検討を進める。シャワー室の設置は、上野台体育館の大規模改修時に検討する。

孤独死対策
問 高齢者の孤独死の現状と防止策はどのような
答 注意喚起の路面標示やグリーンベルトを設置し、安全確保を図ってきたが、さらなる安全を考え富士見市や警察と連携し検討していく。
勝瀬小学校への通学路の交通安全対策
問 みほの地区から勝瀬小学校への通学路は、狭あい道カーブがあり危険を感じる。どのような対策を考えているのか。
答 注意喚起の路面標示やグリーンベルトを設置し、安全確保を図ってきたが、さらなる安全を考え富士見市や警察と連携し検討していく。



ラグビーワールドカップ2019に向けて

加藤恵一 議員

市政を問う！

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、15人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(8月下旬掲載予定)

中学校教員の業務支援

渡辺 大議員

問 学力向上や指導の充実を実現するために、書類の印刷・仕分け、小テストの丸つけなどの業務については、支援員を配置し、教員が生徒と向き合う時間を確保しては。
答 教員が生徒と向き合う教育の充実に努める。
問 月80時間を超える時間外労働が過労死ラインの目安だが、本市の状況は。
答 月平均63時間の時間外労働である。
住民票等のコンビニ交付
問 コンビニ交付を導入し、事務スペース・人員を削減した上で、公共施設の適正配置を検討する必要がある。国からは積極的に勧奨する通知があり、導入後3年間は総事業費の2分の1の補助がある。申請期限は来年度



までだが市の考えは。
答 現状、多くの人がコンビニ交付を利用できる状況ではないため、導入により業務量、人員等の削減を図ることは難しいと考える。
公園遊具の充実
問 使用禁止になっている遊具などが目立つ西ノ原中央公園のような人気の高い公園については、遊具の維持管理の充実を。
答 管理の徹底を図る。

家族との絆を深める 家読の推進を

西 和彦 議員



問 子どもの読書活動推進のため、家庭で親子が同じ本を読み感想などを語り合い、家族との触れ合いや絆を深めることができる家読推進の考えは。
答 今後の進め方を学校やPTA、子どもの関係団体への意見聴取や先進事例などにより、研究したい。
待機児童解消に向けた保育受入枠の拡大を
問 現在までの入所待機児童解消への取り組みと、今後の対応は。
答 民間保育園9園の新設整備を支援し、約900人分の定員枠の拡大を行った。
問 今後も待機児童数の動向を注視し、保護者の子育てへの気持ちに寄り添った支援を行う。

国道254号バイパス沿道の企業誘致推進を
問 昨年、この地区の産業系土地利用を推進するため土地区画整理組合準備委員会が設立されたが、その後の状況は。
答 先進地視察や権利者の意向調査を実施した。現在、準備委員会において業務代行予定者を選定するための提案企業を募っている。

自転車ネットワーク

谷 新一 議員

問 自転車ネットワーク計画の路線選定は、何を重視したか。
答 駅や学校、商業施設、公共施設等の自転車利用者が多い施設へのアクセス性向上を重視し、また、自転車事故発生状況なども勘案した。

問 自転車のネットワーク強化について。
答 限定的な情報ではあるが、平成27年度は3件、平成28年度は6件、平成29年度は7件である。対策としては、75歳以上の単身高齢者を対象に高齢者あんしん台帳を整備するほか、高齢者見守りネットワーク事業などを強化していく。

バリアフリー化で歩道を安全に

川畑京子 議員

問 交差点付近の転倒防止の安全対策は。

答 全ての歩道を段差の少ないセミフラット型へ改修することは難しいが、転倒防止策について点検を実施し、段差があり転倒する危険がある場合には速やかに修繕を行うよう努めていく。

マイナナンバーカードの普及を

問 カードの交付、普及状況は。

答 昨年4月からタブレット端末を利用した申請サービスを開始した。

そうしたことが交付率の向上につながっていると考える。平成30年5月末現在の交付枚数は1万4746枚、交付率は13.0%であり、県平均11.3%を上回っている。

成人の発達障がい者の支援を

問 相談体制はどうなっているか。

答 障がい福祉課、障がい者相談・就労支援センター、保健センター、福祉総合支援チーム、社会福祉協議会などが相談窓口となっている。

問 相談に来ない人への対応は。

答 発達障がいの特性を考慮する必要がある、状況に応じて訪問支援も実施している。



バリアフリー化された歩道

地域福祉計画を進め 持続可能な自治組織を

小林憲人 議員

問 集会所及び公民館分館を地域福祉の相談拠点として活用しては。

答 身近なところに福祉的拠点があれば安心につながる。地域福祉の拠点づくりの観点も含め、総合的に考えていきたい。



地域の集会施設

止の観点から、既存事業者と相談しつつ条例制定としては。

答 制定に向けて研究したい。

共生社会の実現を

問 成年後見支援センター設置の根拠として、権利擁護条例の制定を。

答 条例制定に向け、センターとあわせて準備を加速させていく。

子どもたちに明るい未来を

問 子どもの未来応援プランの施策を実現していくためには、庁内推進会議にとどまらず、施策の実行チームが必要では。

答 作業部会もしくは分科会をつくり、4つぐらいの課を集めて柱の施策を推進したい。

協働のまちづくり情報の公開推進を

鈴木啓太郎 議員

問 協働のまちづくり推進指針には、後援、補助、共催など協働の6つの形態が示されているが、事例の基準や件数などを情報公開すべき。

答 後援には、ある程度明確な定義づけがあるが、そのほかは基準がなく、また事例や課題も把握されていない。これらは必要であると考える、議論を重ねる。

元号改定で混乱は起きないか

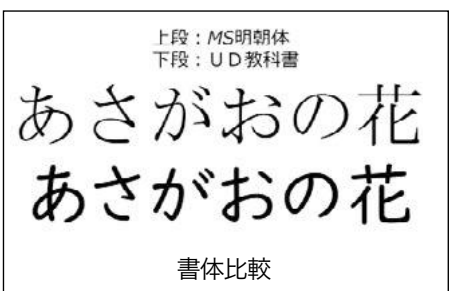
問 来年5月に改元が予定されているが、混乱はないのか。

答 市の文書はすべて西暦でデータ保存され、和暦への変換で問題は発生しない。また市への文書など西暦、西暦のいずれで申請されても受け付ける。

市と教育委員会の連携

問 総合教育会議の成果は何か。

答 双方が意見交換の場として有効と考えている。教育振興計画策定をはじめ、学区の再編、発達に課題のある児童への支援など連携を進めた。



書体比較

※デジタルサイネージ=電子看板

問 デジタル広報誌やデジタルサイネージへの活用可能性は。

答 市の障がい者プランにおいて位置付け、全庁的に取り組んでいる。今後も市報をはじめ、デジタルサイネージも含め、あらゆる媒体でユニバーサルデザイン(UD)を推進し、UD書体そのものの認知度を上げて、見やすく分かりやすい情報を多くの方に発信していく。

より効果的な中小企業支援の推進

問 生産性向上特別措置法を活用した中小企業支援策や、その他の支援事業等も含めた情報公開の必要性は。

答 引き続き中小企業支援策の情報収集に努め、ホームページを活用するなど情報提供を進める。

障害児通所受給者証の交付の適正化

問 交付事務など改善の可能性は。

答 今後も保護者への制度周知の徹底を図り、保健センターや児童発達支援センター等と連携を密に取り、スピード感を持って受給者証交付に向けた制度運営を行う。



協働で行う新河岸川清掃活動

公金のクレジットカード払い

民部佳代 議員

問 税や水道料金など、「クレジットカードで支払いたい」という声がある。導入の予定は。

答 将来的に必要なサービスと考えている。費用対効果などを研究し検討する。

民泊新法への対応

問 市内に民泊と思われる物件がある。民泊は県への届け出が必要。市内の届け出件数は。

答 届け出はない。

問 民泊のごみはどういう扱い。

答 事業系ごみになる。



問 無届け民泊やごみの問題など、どこに相談すればいいの。

答 産業振興課が窓口となり、担当課につなぐ。

同性パートナーシップ制度

問 同性カップルが生涯のパートナーとして同一世帯で暮らしていても、周囲からは家族として扱われない、生命保険の受取人になれないなど問題がある。渋谷区などでは婚姻関係と同等の関係にあることを公的に証明する制度ができ、近年、大手企業の福利厚生制度や保険会社で同性パートナーを容認する動きがある。市も検討を。

答 当事者が何を望んでいるかなどを含め、調査研究を進めたい。

市街化調整区域の公共下水道の整備

伊藤初美 議員

問 未整備地域の現状は。

答 市街化区域に隣接し、公共下水道に接続の希望があった場合、荒川右岸下水道事務所と協議し、許可が得られたところを整備拡大している。

問 公共下水道事業が認可されていない地域の合併浄化槽に、維持管理費の助成はできないか。

答 清掃や保守点検などの受検率は県平均を下回っており、課題である。啓発に取り組むが、市単独の助成は現在のところ考えていない。

国民健康保険税減免の拡大を

問 多子世帯に対する均等割の減免を申請なしでできないか。

答 保育料軽減事業も同じように申請を必要としているので、同様とする。



西原住宅前のバス停

問 対象年齢を所得のない22歳の学生まで拡大を。

答 試算では対象人数が67人増える。必要な財源は約268万円となり、拡大は考えていない。

バス停留所の安全対策

問 安全のために屋根付き待合所の新設ができるか。

答 整備を行うのは原則としてバス事業者なので、要望していく。

大規模小売店舗との関係強化

床井紀範 議員

問 市では大学や郵便局と連携協定を締結している。大規模小売店舗との包括的連携協定の締結は。

答 大規模小売店舗が持つ知名度や集客力などの特色を発揮していただけるよう内容の研究を行い、連携が図れるか検討する。

問 商業振興条例の制定を。

答 地域商業の活性化は、担当課を中心に関係各課で協力し進めている。商工会等とも連携を図りながら進めている。そのため、条例を制定する予定はない。

福岡中央公園校通りの整備

問 健康遊具などを整備しては。

答 今年度行う実施設計



福岡中央公園

の中で検討する。**問** 公園の出入口や石畳などの段差解消、無数に石が転がっていることへの対策、及び桜の木などの根張りへの対策を。

答 地域ボランティア団体や自治組織からも要望がある。今年度行う実施設計の中で検討する。

問 生徒も先生も休養日が取れるようにするには。

答 3月にスポーツ庁から運動部活動の総合的なガイドラインが示された。市でも運動部・文化部を対象とした部活動がイドラインの作成を進めている。

問 生徒の自主性を重視し、生徒の人格や尊厳の確保を。

答 部活動は豊かな人間性や社会性を育成する上でも重要な教育活動であると捉えている。**問** 保護者の悩みの共有や専門家との協働をすべきでは。

答 生徒にとって充実した部活動となるよう、さまざまな専門家との連携、協力を進める。

中学生の部活動の改善を

新井光男 議員

自転車保険料への市独自の助成

問 4月1日から県内では自転車損害保険への加入が義務化された。

小中学生・高校生に対して市の責任で全員加入に向けた助成をしては。

答 今後、小中学生・高校生への助成も含め、他自治体の事例を研究していく。



問 中高年の引きこもりが増え国も調査を始めるが、市や団体等ができることは。

答 一つの組織だけでは対応が困難なことから、支援機関が情報を共有し自立に向けた支援を行っていくことが必要である。

空き家の解体費用に支援を

問 空き家を解体することでの政策効果は。

答 解体後の跡地はコミュニティの活性化に活用も可能。更地になれば不動産として流通し、地域経済の活性化につながる。

問 各種支援施策を創設すべきでは。

答 特別融資は大変有効な方策と認識している。低金利の空き家解体ローンの創設について、

中高年の引きこもり対策

塚越洋一 議員

て、市内の銀行との連携協定の締結を進めていきたい。

地蔵街道の整備と安全対策

問 亀久保郵便局付近西消防署南側のカーブ区間、富久バス停付近、科薬研のT字路、旧豊島屋角の交通安全対策を。

答 現地を確認し、対策可能な箇所は路面表示や注意喚起看板などの安全対策を検討する。



地蔵街道

滝、中丸、水宮地区の浸水対策

問 増設するゲートポンプから、新河岸川に放流できない場合の対応や減災対策は。

答 浸水地区周辺の既設雨水管に暫定放流す



バーデプールのあるエコパ

問 エコパのバーデプールを活用するなど、元気・健康都市宣言を全市的規模で推進すべきでは。

答 全市的に健康づくりを進めている。

健康づくり計画の施策展開

足立志津子 議員

るなど、状況に合わせて対応する。

雨期前の側溝、雨水浸透ますの点検で適切な維持管理を行い、減災に努めたい。

新田保育所周辺の交通安全対策

問 待避所の確保や、保育所への車飛び込み防止策を。

答 保育所側の待避所確保とともに、防止策も検討中である。

子どもを犯罪から守る対策

問 下校時も交通指導員を配置することはできないか。

答 下校時までの対応は難しいと考える。

支出状況等を公開しています 平成29年度政務活動費

政務活動費は、市政の課題や市民の意思を把握し、市政に反映させるために必要な活動に要する経費を会派に対して交付するものです。平成29年度の各会派の支出状況は下表のとおりです。

平成29年度政務活動費支出状況

会 派 名	交付金額	支出金額	返 還 額	備 考
青 藍 会	780,000 円	712,740 円	67,260 円	6 人 (平成 29 年 4 月 ～6 月 は 8 人)
日 本 共 産 党	600,000 円	659,564 円	0 円	5 人
公 明 党	480,000 円	417,051 円	62,949 円	4 人
信 政 会	410,000 円	421,343 円	0 円	4 人 (平成 29 年 7 月 ～11 月 は 5 人)
無 所 属	90,000 円	89,323 円	677 円	1 人 (平成 29 年 7 月～ 平成 30 年 3 月)
民進無所属の会	240,000 円	11,664 円	228,336 円	2 人 (平成 29 年 4 月～6 月)
無 所 属	120,000 円	0 円	120,000 円	1 人 (平成 29 年 4 月～6 月)
無 所 属	120,000 円	0 円	120,000 円	1 人 (平成 29 年 4 月～6 月)

※年度途中で会派を結成・解散した場合はその都度、交付決定・精算を行います。

本市議会の交付額は、議員1人当たり月額1万円です。平成29年度は、他自治体への行政視察に関する費用や研修への参加費、会派広報紙の発行や議会報告会に要する費用、備品や書籍の購入費などが主な内容でした。なお、使わなかった金額については、市へ返還しています。支出内容については、原則領収書を添えて報告することが義務づけられており、本市議会ではホームページ上において公表しています。今後も引き続き政務活動費の適正な運用と透明性の確保に努めていきます。

編集委員が
インタビュー！

表紙：働く人シリーズに寄せて

金属加工業の方に伺いました

Q お仕事を教えてください。

A 楽器メーカーの依頼で、穴の開いた真鍮^{しんちゅう}の管に溶接で部品を取り付け、磨いてメッキをかけます。

Q 細かい作業ですが、部品の数はどれくらいありますか。

A サックスだと 100 以上あります。加工した部品を納入して、最終的な音の調整は発注元のメーカーが行います。

Q 仕事で困ることは。

A 小さな工場で人の入れ替わりも少なく、仕事にマンネリ化することです。何か新しいことを見つけていかなければなりません。

Q 自社製品としてホイッスルを開発したと聞きました。

A ラグビーの審判をしている従業員がいて、公式戦で使えるホイッスルをつくりました。楽器作りの経験を活かし、中低音で響くよう試行錯誤しました。ラグビーワールドカップで使ってもらうのが夢です。

Q ふじみ野市に向けて一言。

A 人口も増えて若い人が多く活気があります。これからも活性化してほしいですね。



ご協力いただいた大井中央の小柴一樹さん

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
市議会の会議録も見られます。
政務活動費も公開しています。

ふじみ野市議会

検索



6 月定例会の傍聴者は 67 人でした。

傍聴をお待ちしています

次の定例会の
開 会 予 定 : 8 月 31 日 午前 9:30 ~

請願締切予定 : 8 月 21 日 午前 10:00

市役所 4 階議場で開催します

議会広報常任委員会

委員長 有山 茂	副委員長 加藤 恵一
委員 川畑 京子	委員 島田 和泉
委員 民部 佳代	委員 鈴木啓太郎
委員 床井 紀範	

表紙の題字を書してくれた人
大井西中学校 3 年 萩野谷実結さん

ふじみ野



ふじみ野市は人口が増加している中、田畑や雑木林など自然が多く残っています。私たちが大人になった時、ふるさと、であるふじみ野市が今と変わらず、自然にあふれ住みやすい町であってほしいと思います。

編集後記を作成している最中、テレビではサッカー日本代表のワールドカップ初戦で歴史的な勝利の様子が放映されていました。この勝利で、期待が大きく膨らむことでしょう。

編集後記

さて、市議会も 6 月定例会を迎えて、副議長が改選されるとともに常任委員会でも新しい正副委員長が決まり、新体制でスタートを切りました。議会広報常任委員会のメンバーも 3 人が変わり、今回ついに節目となる第 50 号を発行することができました。

企画記事では、市民の皆様から市議会だよりの感想を直接いただくという初めての試みを行っています。いただいた意見を参考に、次号からも心新たに、議会が市民の皆様とともに歩み続けられるよう、よりよい市議会だよりをお届けしていきたいと思ひます。

(有山 茂)